

第3回那珂市自転車活用推進協議会での意見に対する対応について

No.	委員名	ページ	意見	意見(コメント)に対する市の考え方
1	平田 会長	P23	・市民アンケートの主な交通手段のうち自転車利用分の年代別割合については、年代毎に自転車利用率を表したほうが正確ではないか。	・自転車利用分の内訳について、年代毎に自転車利用率を表した表に修正しました。
2	絹代 委員	P50	<p>・自転車からの視点だけでなく、歩行者、ドライバーとの共存というのを少し、強調してもいいと思う。</p> <p>・歩行者の中には障害を持たれている方や妊婦、高齢者等もいると思う。「歩行者やドライバーへの周知啓発」と一緒になってしまうことには少し違和感を感じる。</p> <p>・自転車を安心安全に使えると同時に、歩行者も歩道をなんの不安もなく安全に歩行できるように、歩行者を守ることも大切。</p> <p>・歩行者や自動車ドライバーに「自転車ルール」の周知とあるが、「自転車ルール」というものは特別存在しない。交通ルールの自転車に関するもの、ということか。</p>	<p>・下線のとおり修正・追加しました。</p> <p><基本方針2>交通ルールを守ってみんな安全に乗ろう (2項目部分)</p> <p>・<u>歩行者の安全を最優先に考え、自動車のドライバーに対して、歩行者や自転車に配慮した運転を再認識してもらうため、自動車運転免許の更新時や安全運転管理者講習会を利用し、交通ルールの周知機会を増やすことにより、ドライバーの思いやり運転の意識向上を図ります。</u></p> <p>施策④ 交通安全意識の醸成 自転車を利用する年齢層により、自転車の利用頻度や運動能力等が異なることから、世代ごとの特性に応じた交通安全教育や<u>交通ルールの遵守に向けた取組みを推進</u>します。</p> <p>【主な取組み】</p> <p>・世代ごとの特性に応じた交通安全教室等の開催</p> <p>・未就学児に対する交通安全教育の実施</p> <p>・交通ルールの遵守に向けた啓発</p> <p>・<u>自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発</u> など</p>
3		P53 P54 P55	<p>・那珂川、久慈川沿岸におけるサイクリングロードというのは、自転車歩行者専用道のことか。</p> <p>・協カスポットができて、那珂市の特性を生かしたサイクリングルートができ、プロモーションがされれば、十分集客は望めると思う。ぜひ、</p>	<p>・那珂川及び久慈川については、両河川の堤防上の管理用道路を活用するもので、自転車や歩行者の専用になるものではありませんが、今後河川管理者と協議のうえ、整備手法について検討してまいります。</p> <p>また、計画全体をとおして、「ルート」と「ロード」が混在しておりますので、表現を「ルート」に統一いたします。</p>

			<p>サイクリングマップは魅力的なものを作ってほしい。</p> <p>・これからは、イベントをプロモーションに活かせるような体制を作ってください。</p>	<p>・サイクリングマップについては、現在、市役所内のプロジェクトチームを中心に、職員サイクリストの意見も聞くなど、様々な視点からの意見を取り入れながら、利用者にとって魅力的なマップとなるよう、作成を進めております。</p> <p>・「自転車」や「自転車イベント」を新たなコンテンツとして、シティープロモーション担当や観光振興担当部署と連携しながら、効果的に活用してまいります。</p>
4	絹代委員	P77 P78	<p>・ボリュームのある計画になっているので、こんなに多くのことを実行できるのかが少し心配。優先順位などを付けつつ、進めた方がよい。</p>	<p>・施策の重要度や費用面などを踏まえながら優先順位を付けて取り組んでいきたいと考えております。</p>
5	東ヶ崎委員	P23	<p>・なぜ、中高年層の自転車利用が多いのか。免許返納のためか、健康のためか、ターゲットを絞った施策の一考になるかもしれない。</p>	<p>・市民アンケートの結果では、中高年層を中心とした幅広い世代で、自転車利用の理由は「健康的だから」が最も多い回答でありました。</p> <p>こうした結果から、自転車活用を推進するうえで「健康増進」が重要な視点となりますことから、基本方針2に「自転車利用による健康増進の啓発」を施策に掲げ、「健康づくりサイクリングイベントの開催」や「健康効果や楽しみ方などの情報発信」等に取り組むこととしております。</p>
6	東ヶ崎委員	P25	<p>・車道通行を知っていて守らない理由はなぜか。理由によっては自転車車道整備の参考になるのでは。</p>	<p>・市民アンケート等においては、正確な理由は把握できないところですが、車道走行による安全面での懸念や、自動車ドライバーへの浸透不足等が、要因として考えられます。</p> <p>また、同じく市民アンケートでは、自転車利用の促進に必要な施策について、「主要な道路に自転車の通行空間を確保」や「歩行者・自転車・自動車の通行空間を分離」との回答が多いことから、「安全な走行環境を整備」することが重要であると考えております。</p>

				<p>このようなことも踏まえ、基本方針1に「自転車利用環境の計画的な整備」を施策に掲げ、「路肩等の幅員を十分に確保した道路整備」や「自転車走行環境の適切な維持管理」等に取り組むこととしております。</p>
7	東ヶ崎 委員	P32	<p>・地域資源の一つ静峰ふるさと公園の集客として年間を通して楽しめる施策を考えてはどうか。</p>	<p>・静峰ふるさと公園については、平成 29 年度にノルディックウォーキングコースや遊具、展望デッキ等を整備し、四季を通じて多世代が集える公園としてリニューアルいたしました。</p> <p>さらに、今年度は地域おこし協力隊を導入し「パークビジネス活性化プロジェクト」として、定期的な集客イベントの開催や誘客プロモーションに取り組むこととしております。</p> <p>同公園は、サイクルツーリズムの面でも魅力的な拠点となるものと考えておりますので、サイクリングイベント等での活用を進めてまいります。</p>
8		P53 P78	<p>・春に筑波りんりんロードを走った際に、真壁町の喫茶店でランチを食べたら「サイクリスト割」というのがあり、一人 50 円引きであった。これは、単純にとっても嬉しい。</p>	<p>・本計画では、基本方針3に「サイクリストに対するおもてなしの充実」を施策に掲げ、「サイクリストにやさしい協力店舗等の確保」等に取り組むこととしておりますので、ご意見にあるような取組についても、実現していきたいと考えております。</p>
9	峯岸 委員	P50	<p>・交通安全意識の醸成～愛媛県のドライバーに対する意識啓発ポスターはとても素晴らしいので、是非参考にしてほしい。ただポスターだけだと効力が今一つだと思うので、これを道路標識にして自転車ネットワーク路線のみならず、あちこちに沢山建てると良い。</p>	<p>・本計画では、基本方針2に「交通安全意識の醸成」を施策に掲げ、「自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発」等に取り組むこととしておりますので、愛媛県のポスターや取組についても、参考にしていきたいと考えております。</p>
10		P77	<p>・自転車のサイクリストの交通安全意識の醸成も必要だが、同時に行わなければならないのが、自動車のドライバーの交通弱者に対するモラ</p>	<p>・本計画では、基本方針2に「交通安全意識の醸成」を施策に掲げ、「自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発」等に取り組むこととしております。</p>

			<p>ルの向上だと思う。</p> <p>例えば、自動車教習所に於いては自転車に乗る時間・プログラムを設定してもらっても良いくらいだと思う。</p> <p>・JR 東日本に協力して頂き、自転車をそのまま（輪行せずに）乗車可にするというのはいかがか？ 例えばサイクリスト専用車を（他の乗客に迷惑にならない様に自転車を隔離）土日祭に運行するなど。</p>	<p>具体的には、自動車運転免許の更新時や安全運転管理者講習会の機会を活用して、自動車ドライバーへの周知啓発が図れるよう、関係機関と協議してまいります。</p> <p>・これまでも「サイクルトレイン」の運行につきましては、JRに要望してまいりましたので、引き続き要望していきたくと考えております。</p>
1 1	引田 委員	P53	<p>・主な取組みの中に『自転車活用拠点の確保等』『サイクリストにやさしい協力店舗等の確保』があるが、具体的な取組みとして、拠点や店舗等へのサイクルスタンドの提供や幟の提供 サイクルマップへの掲載 ホームページでの紹介等、費用面でそれなりの負担が発生すると考えられるので財政当局と綿密な調整が必要である。</p>	<p>・令和2年度予算において、サイクルサポートステーション（サイクルラック、のぼり、空気入れ、工具等を設置）を10箇所設置する予算を計上しており、サイクルマップへの掲載も予定しております。</p> <p>来年度以降も、サイクルサポートステーションを計画的に増やしていけるよう、予算確保に努めてまいります。</p>
1 2		P54	<p>・主な取組みの中に『市民と連携したサイクリングイベントの開催』があるが、具体的なイベントのかたちをどの様に考えているのか。那珂市に向いているイベントはロゲイニングであると思われるので検討するべき。</p>	<p>・那珂市におけるサイクリングイベントについては、地域資源の活用が要と考えておりますので、ご提案のロゲイニングも含めまして、他の地域の成功事例等を調査、検討してまいります。</p>
1 3		P54	<p>・主な取組みのなかに『広域サイクリングとの連携』があるが、具体的にどの様な連携なのか。</p>	<p>・県では、那珂市を含む県北地域の広域エリアを対象とした「奥久慈里山ヒルクライムルート」（約200km）の整備を進めており、さらに、県央地域定住自立圏（水戸市を中心とした9市町村）では、「水戸市・那珂市・城里町サイクリングコース」（約42km）を設定するなど、複数の市町村をまたいだルートがございますことから、これら広域ルートとの接続・連携を意識したサイクリングマップづくりを進めてまい</p>

				<p>ります。</p> <p>また、県の「奥久慈里山ヒルクライムルート」については、沿線市町村、県、民間事業者等で構成する協議会を立ち上げ、地域の情報発信や誘客促進に向けた事業を一体的に展開することで、沿線地域全体の活性化につなげていくこととしております。</p> <p>当市としましても、「奥久慈里山ヒルクライムルート」等の利用者を那珂市に呼び込んでいけるよう、魅力的な市内周遊コース等を設定していきたいと考えております。</p>
14	松丸 委員	P68	<p>・奥久慈里山ヒルクライムルートとの連携について、具体的なネットワークを設定しないのか。</p>	<p>・「奥久慈里山ヒルクライムルート」の中で、那珂市に近接しているのは「国道123号」と「久慈川山田川サイクリングロード」でございますが、本計画の「自転車ネットワーク計画」につきましては、これらへの接続・連携を意識して路線を選定しております。</p> <p>当市としましても、「奥久慈里山ヒルクライムルート」の利用者を那珂市に呼び込んでいけるよう、魅力的な市内周遊コース等を設定していきたいと考えております。</p>
15		P1	<p>「1. 計画策定の背景と目的」</p> <p>・文中に「自転車活用」と「自転車利用」が混在</p>	<p>・全体的に「自転車活用推進」と「自転車利用促進」が混在しておりましたので、基本的に「自転車活用推進」に統一しました。</p>
16	石川 (昭) 委員	P42	<p>・〈基本方針2〉で【市民向けのソフト対策】とあるが、【市外民向けのソフト対策】は〈基本方針3〉にあると読み替えてよいか。</p>	<p>・市外から観光やサイクリング目的でお越しいただく方向けの施策は、基本方針3「交流とおもてなしで地域を盛り上げよう」に概ね位置付けられていると考えております。</p> <p>また、基本方針1における「自転車利用環境の整備」等につきましても、市内の方に限らず、市外の方向けの施策でもあると考えております。</p>

17		P44	<p>・目標1（基本方針1、2、3）で、自転車ネットワーク路線の整備延長が記載されており、計画的に整備を進めるとあるが、何が整備されると整備済みとなるのか。市以外の道路管理者に求める整備水準は何か。</p>	<p>・これまでの協議会での議論や、市議会・市民等からの意見を踏まえ、基本的な整備手法の考え方は下記のとおりと考えております。○新たに整備する道路は、車と自転車が安全な走行環境で共存できるような路肩（又は停車帯）の幅員を十分に確保した整備を推進（路肩内に矢羽根やピクトグラムを表示）○既存道路は、幅員に応じた整備手法を検討、なお、既存道路であっても、今後、道路の改修等が予定されている路線については、それに合わせて可能な限り路肩（又は停車帯）の幅員を確保した整備（矢羽根やピクトグラムを表示）を進めたいと考えております。また、自転車ネットワーク路線の多くは既存道路であり、改修等の予定がない路線につきましては、現状の幅員構成等を踏まえ、最適な整備手法を選択することになりますが、矢羽根やピクトグラムの表示のみの整備が主なものになってくるものと考えております。市以外の道路管理者に対しましても、同様の考え方にに基づき、協議をしていきたいと考えております。</p>
18	文言 修正	P1	<p>「1. 計画策定の背景と目的」 ・「奥久慈里山ヒルクライムルート」の整備を予定 → 整備に着手</p>	<p>ご指摘のとおり修正しました。</p>
19		P10	<p>④全国の自転車事故 全国の自転車事故は → 全国の交通事故は</p>	<p>ご指摘のとおり修正しました。</p>
20		P56	<p>(2)対象地域 那珂内全域 → 那珂市内全域</p>	<p>ご指摘のとおり修正しました。</p>